

にほんごをまなぼう 10 指導案(例) きょうはやすみます

学齢	小1~中3	テキスト	にほんごをまなぼう1
学習者	低学年は「学校を休む時は連絡をしなくてはいけない」ことがわかる。 高学年・中学生は、電話を使って言うってみる		
備考	2~3名 非漢字圏 教具: 電話機(おもちゃ)、携帯電話(100円で展示品を入手)		

学習目標
<ol style="list-style-type: none"> 1) 9課の復習:T 上着を脱いでくださいなど着脱動詞を使った指示や着ているものの語彙(根気よく!) 2) テキスト P24 からだのこと 復習 3) 休む時、遅刻するときには電話が必要(日本語教室の遅刻欠席の時は連絡が必要なことは母語で保護者・児童生徒には伝えてあるが今一度確認) 4) 語彙: 休みます、遅刻します、早退します 5) 電話: もしもし 6) 携帯電話で「あいうえお」の順番確認
準備: 具体物: 電話機、携帯電話

内容	目的
導入	
P24 を復習 お腹が痛いです。 学校を休みます(「休み時間」[休み]の語彙は毎日使っているので理解している)	
展開	
電話機を取り出す T「もしもし」(韓国ヨボセヨ、中国ウェイ、英語ハロー) Sに携帯電話を持たせる「休みます」発話が出てこなかったら復唱 T「もしもし xxx小学校です」 S「学校を休みます。[お腹が痛いんです]」 T「名前は何ですか?」 S「オリベイラです」	学校を休む理由を P24 を使って色々と替えてロールプレイ。 その後、休みます→遅刻しますに変えてロールプレイ

T「わかりました」	
休憩	
2 時間目 : 教科書・文法・発話	
導入	
<p>P34-35 を順番に読む T:P30 を開いてください。 T:順番に読んでください。S 君、1 番、T 君2 番、P くん 3 番 Ss:順番に読む T:みんな良くできました。 (細かい発音のチェック)</p>	<p>内容、状況のわかっている文を読む</p>
文字	
<p>携帯電話 知っている文字を見つける 「あ」～「ん」押しながら発声する 発音のチェック</p>	<p>あいうえお 1 回押すと「あ」2 回押すと 「い」という仕組みがわかる 50 音表がわかればメールが打てることを知る</p>
<p>まとめ 最後に携帯電話でロールプレイ 1 回ずつ(ほめて終わり) プリントを配る。(宿題)</p>	